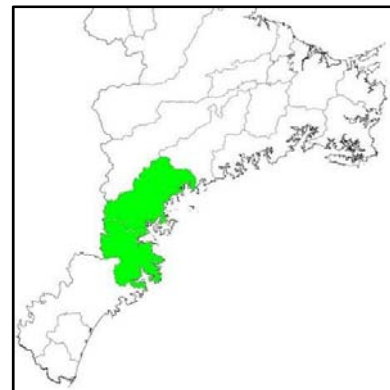


## 速水林業の取組の概要

### 1. 地域林業の概要

速水林業はヒノキで有名な尾鷲地方の三重県尾鷲市、紀北町に1,070haの森林を所有しています。尾鷲地方の林業の特徴として、密植方式（6,000～8,000本/ha）であり、それに対応した間伐の繰り返しと枝打ちという育林技術、急峻な地形に適応した高度な架線技術があげられます。こうした特徴からコスト高とならざるをえず、木材価格の急激な下落により再生林ができず、伐採後未植栽地となる林地が多く発生していることから、その解消が課題となっています。



### 2. 取組1「ヒノキポット苗の試作と再生林コストの検証」(平成18年度)

#### ①取組の内容

挿し木によるポット苗を試作しました。ポットの形状は以下のとおりです。

- 農業用灌水チューブを15cm程度にカットし、下部をホッチキス止め。
- 植栽時にポットを外すことから、ポット側面にミシン目を入れました。

#### ②取組の結果

平成18年度にヒノキポット苗の市販はありませんでしたが、以前市販されていたポット苗は200円/本であり、これと比べ、試作したポット苗は140円/本となり、安くなりました。

しかし、一般の実生苗80円/本に比べるとまだまだ高価であり、今後も改良を続ける必要があります。



### 3. 取組2「ヒノキポット苗の改良と再生林コストの検証」(平成19年度)

#### ①取組の内容

セラミックパイプを使用したポット苗を試作しました。また、前年度試作した灌水チューブポット苗を植栽し、コストを比較しました。

#### ②取組の結果

セラミックパイプポット苗はパイプごと植栽ができることから、1,000本/人日程度植栽が可能であると考えられます。

灌水チューブ苗は、植栽時にポットを取り外す時間がややかかる上、取り外す時に土のほとんどがポットに残ってしまうという問題が見られました。

植栽試験については、929本(4,200本/ha)の植栽を行い、速水林業の従来の植栽方法(4,000本/ha)と比較したところ、植栽コストは873,000円/haとなり従来の方法の680,000円に比べ23%増という結果になりました。苗木代の差(未生苗80円/本に対しポット苗140円/本)の影響を大きく受けていることから、さらなるポット苗の改良がコストダウンにつながると考えられます。



→詳細版はこちら